

## JSS 中部 第13回地方会のお知らせ

主催 JSS 中部地方会・日本超音波検査学会  
実行委員長 西川 徹 (藤田保健衛生大学病院)

装置提供: GEヘルスケア・ジャパン株式会社

今回のテーマは「臨床サイドへ報告する記録画像とレポート内容」です。腹部領域、体表領域におけるキー画像や、ポイントをおさえたレポート報告方法について肝、脾、胆、腎、甲状腺、頸動脈を対象に各講師による症例を混えた講演を行います。さらに参加者を含めた総合ディスカッションにて、日々の検査をイメージした内容にて各現場における記録画像、レポートの書き方を討議します。また、腹部検査、頸動脈に関しては、講演およびライブによるルーチンの進めかたや操作工夫を紹介し講演を行います。今回の地方会では、一般演題を予定しております。多くの方々からの応募をお待ちいたします。

地方会への参加に関して、郵送での参加は受付できなくなりましたが、ホームページからの事前登録の上、多数ご参加くださいますようお願いいたします。

### 記

テーマ:「臨床に役立つ撮影画像とレポート」

日 時: 2010年10月31日 (日) 9時00分~16時40分 受付開始8時15分

会 場: 名古屋第二赤十字病院 3病棟1階研修センター

参加費: 正会員・事前登録: 1,000円、正会員・当日受付: 1,500円 非会員(事前登録なし): 3,000円

受付期間 2010年9月21日~10月12日 (ホームページからのみの予約受付となりました)

ご注意: \*定員: 280名

\*変更になる場合もあります。詳細は学会ホームページ (<http://www.jss.org/>) をご参照ください。

\*事前登録は登録時点でのみご利用が可能です。

非会員や入会手続中の方はご利用いただけません。

\*事前登録のみで定員に達した場合は、未登録の方の当日ご参加はお受けできません。

なお、申し込み状況は日本超音波検査学会ホームページの地方会のページにてご確認ください。

\*空席がある場合のみ当日参加をお受けいたしますが、受付開始は事前登録の方を優先させていただきます。

\*地方会の参加には事前登録の有無に関わらず会員証をご持参ください。

\*会場内のビデオおよびカメラでの撮影は禁止といたします。

\*本会は日本超音波医学会認定の超音波検査士資格更新5単位が取得できます。

### 名古屋第二赤十字病院

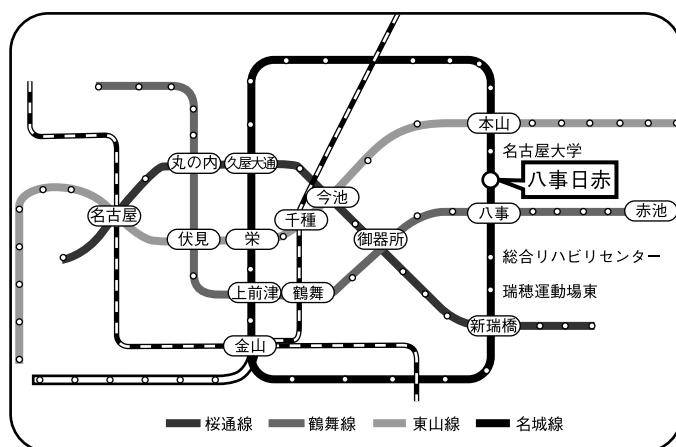
〒466-8650 名古屋市昭和区妙見町2-9

#### 【地下鉄利用の方】

・名古屋市地下鉄環状線「八事日赤病院前」下車

#### 【車をご利用の場合】

・駐車料金は自己負担とさせていただきます  
名古屋第二赤十字病院のホームページ  
<http://www.nagoya2.jrc.or.jp/>



連絡先: 〒485-8520 愛知県小牧市常普請1-20 小牧市民病院 臨床検査科 余語 保則

TEL 0568-76-4131 (PHS5282) E-mail: [yogo@mail.jss.org](mailto:yogo@mail.jss.org) (できるだけE-mailでお願いします)

## JSS 中部 第13回地方会 プログラム

2010年10月31日（日）

時 間	内 容
8:15~8:55	受付・ガイダンス
9:00~10:40	<b>第I部 上腹部スクリーニング検査の進め方とコツ</b> 講師：伊藤 将倫（名古屋共立病院消化器画像診断課） 福本 義輝（清生会松阪総合病院検査科） 司会：刑部 恵介（藤田保健衛生大学医療科学部） 上腹部臓器で特に肝胆脾において見逃しの少ないプローブ操作や、描出しにくい部位の描出方法、被検者に対するテクニック、計測法のコツをデモンストレーションしていただき、また通常のルーチンにおいて標準的な記録画像につき解説していただきます。
10:40~10:50	休 息
10:50~11:40	<b>第II部 婦人科領域のスクリーニングとレポート報告方法</b> 講師：古川 博（藤田保健衛生大学病院臨床検査部） 司会：野田 徳子（社会保険中京病院検査部） 通常の検査時に婦人科疾患に遭遇することはまれではありません。いざというときのために婦人科領域の症例を提示していただき、日頃、検査にて骨盤内で発見した病変の報告方法を被検者に対するテクニックを加えて解説していただきます。
11:40~12:40	昼 食・休憩
12:40~13:50	<b>第III部 一般演題</b> 座長1：元地 進（浅ノ川総合病院中央検査部） 座長2：川地 俊明（大垣市民病院形態診断室）
13:50~14:00	休 息
14:00~15:00	<b>第IV部 顎動脈スクリーニング検査の進め方とコツ</b> 講師：河野 哲子（聖隸検診センター検査課） 高井 洋次（藤田保健衛生大学病院放射線科） 司会：余語 保則（小牧市民病院臨床検査科） 顎動脈でのプローブ操作や、描出しにくい部位の描出方法、被検者に対するテクニック、計測法のコツをデモンストレーションしていただき、また、通常のルーチンにおいて標準的な記録画像につき解説していただきます。
15:00~15:10	休 息
15:10~16:30	<b>第V部 記録画像とポイントをおさえたレポート作成</b> 1) 肝臓・脾臓 講師：森 晴雄（岐阜県総合医療センター臨床検査科） 2) 胆道・脾臓 講師：安本 浩二（三重県立総合医療センター中央放射線部） 3) 甲状腺 講師：海老名祐佳（名古屋第二日赤病院医療技術部） 司会：山本 幸治（清生会松阪総合病院検査科） 超音波レポートを書く上で、最も大切なことは何か。こういった観点から代表的な記録画像と、さらにポイントをおさえたレポート記載方法につき解説していただきます。

## \*一般演題を募集いたします

一般演題に応募される方は、実行委員長の西川徹（藤田保健衛生大学病院）までメールにて連絡ください。

応募アドレス：tnishika@fujita-hu.ac.jp 締め切り：2010年8月31日

## \*演題名は決まり次第ホームページに掲載いたします。

## \*一般演題発表者には、参加5単位に加え、発表5単位の取得が可能です。

## \*一般演題申し込み者には、申し込み後演題抄録雑型（全文440文字以内）をお送りします。